

限定配布

秘密指定解除
情報公開室

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電信写

大政外務省
事務次長
官審長
審総人

参对文会厚海

調査長 参企析調

領移長 参一旅移
二查

次 田 東 ア
長 参北 西 難 対

総番号 (TA) R098807 5184 主管
79年 月 07日 02時 55分 中 国 発
79年 12月 07日 04時 12分 本 省 着

外務大臣 参 (大) 大使 臨時代理大使 総領事 代理

総理訪中 (第2回首のう会談小人数会談)

第2636号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第2615号に関し

6日午後3時30分より30分余りにわたり行なわれた大平、華国ホウ小人数会談の概要次のとおり。

(同席者：中国側コクボク副総理、コウ華外相、日本側大来外相、ヤナギヤ・アジア局長)

1. 大平総理より、本日朝のトウ副総理との会談は、大変有益であつたと述べられたのに対し、華総理より自分も同感であり内容はすでに聞いている、よつて同じ話はくり返さないことにすると述べた。

2. 大平総理より、下記(1)(2)はトウ副総理に申し上げたことだが重ねて貴総理にも申し上げておきたいとしつつ次のとおり述べられた。

(1) トウ副総理よりインドシナ半島に関する中国の認識及び戦略につき世界的視野からのお話をうかがい大変参考になつた。わが国としては国際紛争はあくまで平和的手段で解決されるべきとの立場であり、インドシナ紛争についてもこのような態度で

参北北保

参一二

参西東洋
西東

参一二ア

次総経国資漁
経国資

参政技一開
技

参条協規

参企軍專
政経

科原

参道プ内外

参一二

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係（TEL 2172）に連絡ありたい。

電 信 写

貴国及び関係国に申し入れている。また、わが国の対越援助については約束は守らねばならぬが、いつ実施するかは日本が自主的に諸般の情勢を判断して決めたい。

（2）日本と台湾との関係については日中国交正常化の際、民間レベルの関係を維持することにつき中国側の理解を得て今日まで続けて来た。わが国としては実務関係を政策的に拡大しようとは思わないし、日中共同声明のわく組を侵すつもりもない。ただ実務関係が「自然増」の形で分量が増えていくことは理解してほしい。いずれにせよ、何か重大なことをやる時は事前に中国政府に相談する。

（3）朝鮮問題につき貴総理は昨日南北対話の促進のための国際かん境づくりに努力することは中国も賛成であると述べられたが、この点両国の立場は共通である。次に貴総理は、韓国の民主化に言及され、これが対話促進の最大の要件であるといわれたが、日本政府はそれぞれの国の進路はそれぞれの国が自主的に決め第三国はこれをじゆん守すべきものと考えており、韓国政府はそれなりに民主化に向けて努力ししていると考えている。また北朝鮮の南下は万々ないとの見解を示されたが、日本もそれを強く希望しており、今後とも貴国側から北朝鮮に対し必要に応じ自制をかんしようしていただければ心強いと考える。

3. 次いで華総理より次の通り述べた。

（1）日本が対越援助を一時停止したことを中国はしよう賛した。ウイエットナムが他国を侵略している時期にこれに援助を与えることはASEAN諸国のようにウイエットナムにおびやかされている国々にとっては不ゆかいなことと思う。もとより約束したことをいつ実施するかは日本自体の決めることであるが、日本はASEAN諸国と良好な関係にあることだからASEAN諸国の意見を求めて進められるのがよいと考える。

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般 情報公開室 問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

秘密指定解除
秘 密

電 信 写

(2) 日台関係について貴総理が話してくれたことをうれしく思う。貴総理は日中共同声明のわく組を守り、日台関係は民間レベルの実務関係であり、ただ「自然増」は理解して欲しいといわれたが、それはもち論理解出来ることである。また貴総理は重大なことは事前に通報し相談するといわれたが、これを聞いて大変うれしく思う。このような話が出るのは中日両国関係が非常にうまくいつていることのあらわれと考える。

(3) 朝鮮半島に関し、中国、日本、米国はお互いに朝鮮に影響力を及ぼし、対話の促進、自主的、平和的統一実現のかん境を作りあげたいと思っている。北朝鮮が武力で南下することは絶対あり得ないと信じている。なお、金日成は平和的統一が実現したあかつきには非同盟、中立の朝鮮が成立すると述べているが、これはアジアの平和に役立つことであり、そうなればソ連が手を出そうとしても難しくなるだろう。

(丁)

写手交済(7日4時40分)

R098807-03